

コラム 胸心膜炎について

令和元年8月発行 第5号

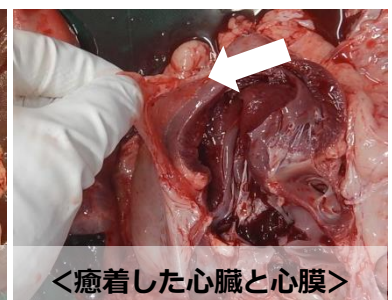
胸心膜炎は、細菌やウイルスが感染することで**肺や心臓を包む膜に炎症が起こる病気**です。重度になると肺や心臓の機能が低下し、発育に悪影響を与えます。

1. 原因と症状

肺の内部に侵入した細菌やウイルスが、肺の外側や心臓にまで波及し、胸膜（肺を包む膜）と心膜（心臓を包む膜）に炎症を起こすとされています。**腹式呼吸や運動不耐性**（すぐに疲れること）、**元気消失**などの症状を呈することがあります。

2. と畜検査では

肺と心臓が癒着し、一体化してしまいます（左）。心臓と心膜も癒着します（右）。このような肺及び心臓は**廃棄**されます。



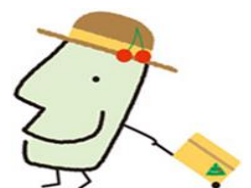
3. 発症要因と対策

発症には**肺炎や誤嚥、創傷、ストレス**が関与するとされています。ピンポイントの対策は困難ですので、**基本的な飼養管理が重要**とされています。

<対策>

- ① ストレスの原因（密飼、気温差、換気不良など）をできるだけ排除
- ② 肺疾患等の予防、ケガの原因をできるだけ排除
- ③ 豚舎を清潔に保持

対策については**管理獣医師等に相談**してみてください



山形県庄内食肉衛生検査所（データ還元担当）
TEL 0234-45-1285 FAX 0234-42-3850